

松江市街地の内水処理計画について

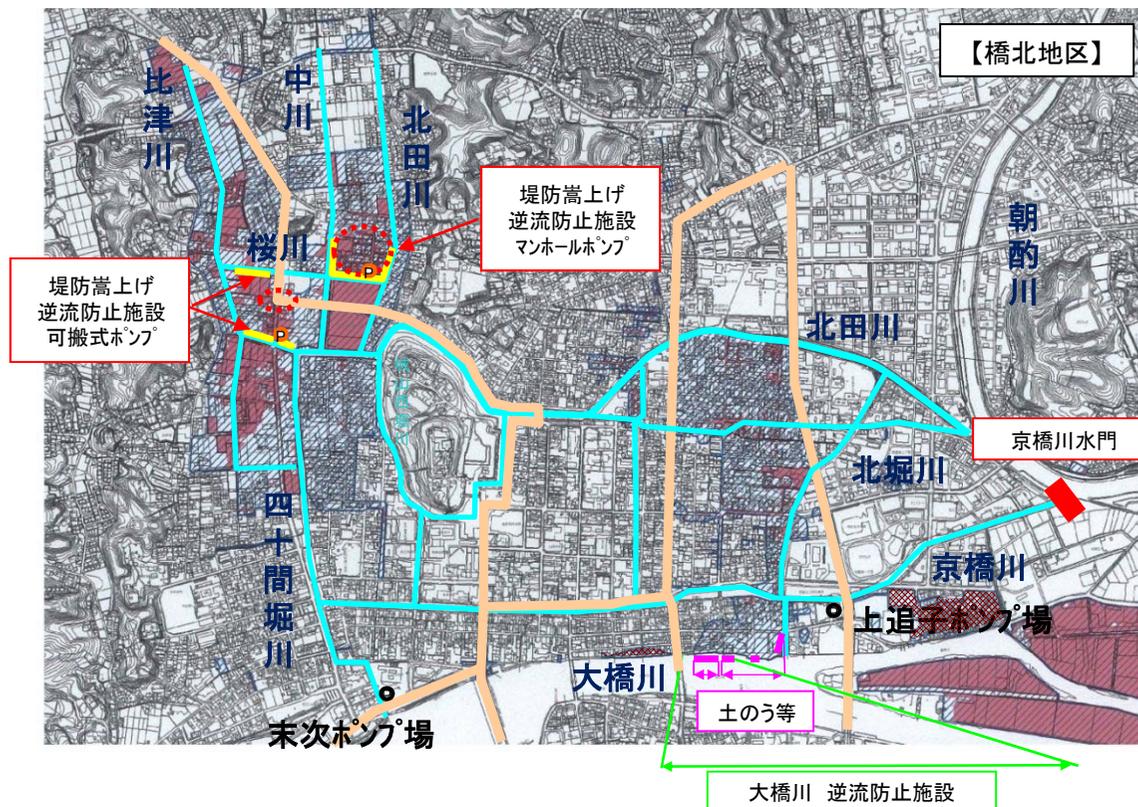
これまでの内水対策

- 内水排除施設として、末次ポンプ場（1～3号機 S51、S63）、上追子ポンプ場（S55）が整備された
- 平成18年7月洪水により、松江市街地が広範囲にわたり長時間浸水し、また、幹線道路の通行止めにより大渋滞が発生した
- 国、県、松江市において、平成18年7月洪水が発生した場合でも床上浸水や幹線道路の通行止めの防止を目的とした「松江市街地浸水にかかる当面の対応策」を策定し、平成21年度までに対策を完了
- 平成20年8月に国、県、市で立ち上げた「松江市街地内水対策検討会」では、昭和47年7月豪雨と同規模の洪水に対して内水被害の軽減を図るための対策を検討し、「松江市街地内水対策（案）」として取りまとめた

松江市街地浸水にかかるとの当面の対応策

対策内容（橋北地区）

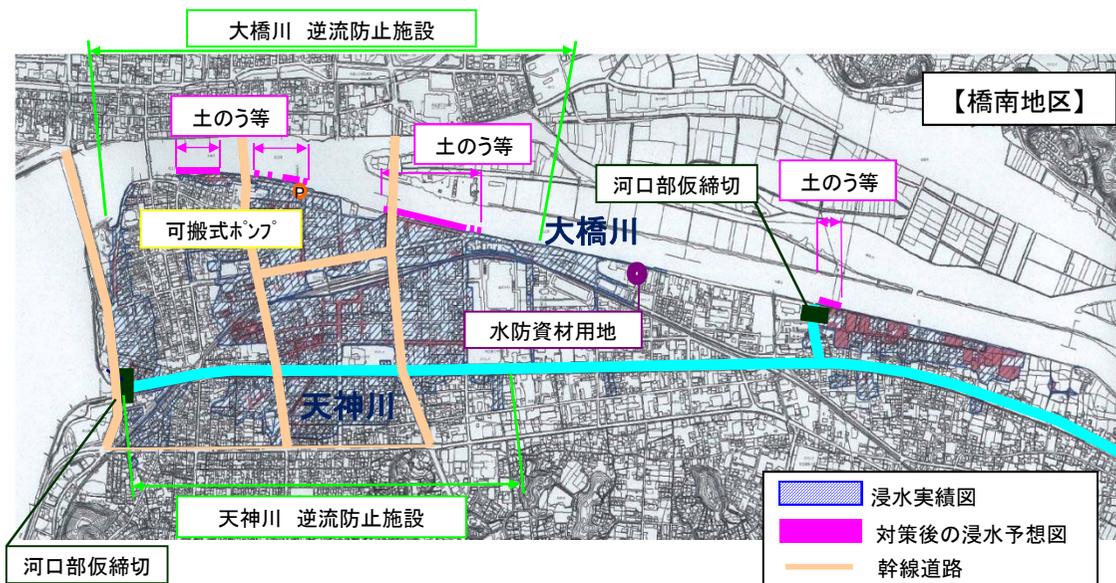
- ①朝酌川からの逆流を防止するため、京橋川河口部に水門を設置
- ②洪水が水路を通じて逆流する箇所には逆流防止施設を設置
- ③洪水が大橋川や中川、北田川、桜川などを超える箇所については、堤防を嵩上げ
- ④黒田西原地区などでは、内水排除のための小型ポンプを設置



松江市街地浸水にかかる当面の対応策

対策内容（橋南地区）

- ①洪水が水路を通じて逆流する箇所には逆流防止施設を設置
- ②洪水が大橋川を超える箇所については、堤防を嵩上げ



松江市街地内水対策（案）

平成22年1月公表

【橋北地区】

- 上追子地区に内水排除ポンプ5m³/s程度設置する。今後大橋川改修事業の進捗に併せ、関係機関等と連携し、早期事業着手を図る。
- 小河川（中川等）の護岸整備等の溢水対策を講じると共に、雨水排水施設整備を推進し、床下浸水被害の軽減を図る。
- 流出抑制対策として、公共用地や既存ため池等を利用し、貯留施設の整備や貯留機能の強化を図る。
- 施設整備だけでの浸水被害解消には限界があるため、浸水被害に関する情報を提供することで地域住民に自助を促すことにより防災・減災を図る。

【橋南地区】

- 天神川上下流端及び権太夫川に設置が計画されている水門を操作することにより、自然排水により内水を排除する。
- 大橋川へ直接流出する地区については、内水排除ポンプの新設に併せ雨水排水施設整備を推進する。
- 上記対策に加え、別途、二次的な雨水排水対策を実施し、床下浸水被害の軽減を図る。
- 施設整備だけでの浸水被害解消には限界があるため、浸水被害に関する情報を提供することで地域住民に自助を促すことにより防災・減災を図る。

松江市街地内水対策（案）

平成22年1月公表



【松江市街地治水対策検討委員会】

将来想定される土地利用状況と将来の河川整備状況を考慮した内水処理計画を検討

○ 大橋川の整備状況は、河川整備計画（今後20年間の計画）で改修された段階で検討